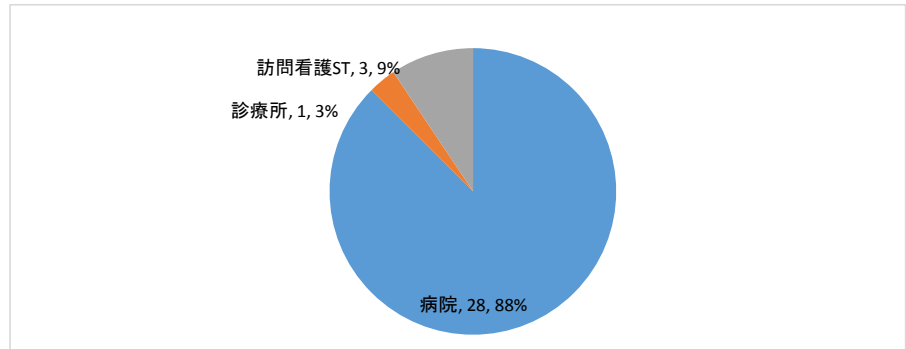


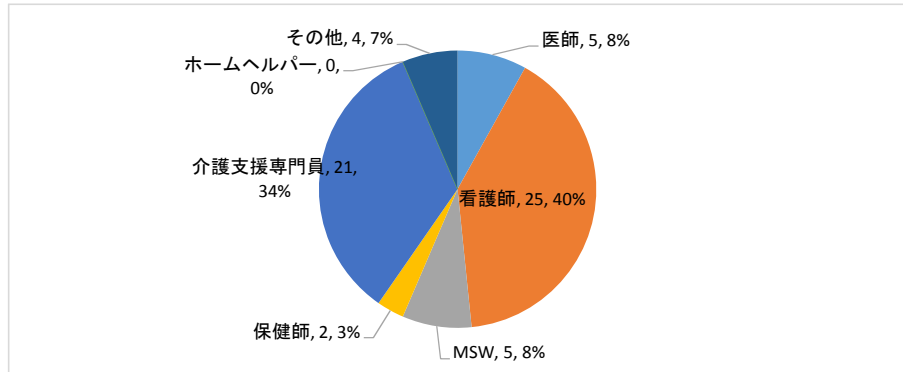
① 所属(医療機関のみ)

	回答数	比率
病院	28	87.5%
診療所	1	3.1%
訪問看護ST	3	9.4%
合計	32	100.0%



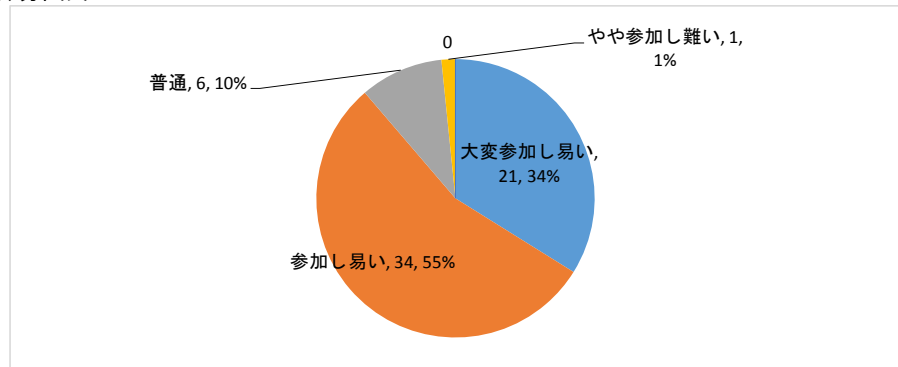
② 職種

	回答数	比率
医師	5	8.1%
看護師	25	40.3%
MSW	5	8.1%
保健師	2	3.2%
介護支援専門員	21	33.9%
ホームヘルパー	0	0.0%
その他	4	6.5%
合計	62	100.0%



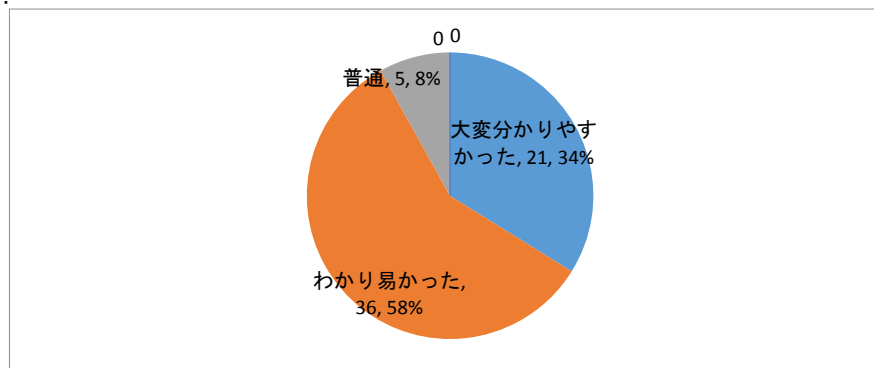
1 多職種連携学習会は、参加しやすい場、雰囲気でしたか？

	回答数	比率
大変参加しやすい	21	33.9%
参加しやすい	34	54.8%
普通	6	9.7%
やや参加し難い	1	1.6%
参加し難い	0	0.0%
合計	62	100.0%



2 講演の内容は分かりやすかったですか？

	回答数	比率
大変分かりやすかった	21	33.9%
わかり易かった	36	58.1%
普通	5	8.1%
少し分かりにくい	0	0.0%
分かりにくい	0	0.0%
合計	62	100.0%



2-② 具体的にわかり易かったこと／わかり難かったこと

医師	<ul style="list-style-type: none"> 救急搬送システムの概要が理解しやすかった。 情報の共有化のためのシステム構築がまだ十分ではないことがよく理解できました。
看護師	<ul style="list-style-type: none"> 見守り連絡板の活用について共有できる内容があることがわかった。 救急の概要など普段知る事がなかった内容を知れたため 事例があったので、わかりやすかったです。 ケアマネジャーの対応の実状がわかった。 見守り連絡板がどういったものなのか利用方法がわかった。また、地域の連携の取り方、工夫がされていること。 救急隊・救急の今が知れた。 検討内容がわかりやすい。 救急の現状。DNARの指示書の検討が進んでいることが分かった。 社会福祉士のことがよくわかった。少しの気づきが大事。 急変時の対応の重要なポイントを知る事ができた。 見守り連絡板のことを初めて知った。 救急隊の話は現状がよく分かりました。 DNARの考え方。病院側と本人・家族の理解の相違がある。 退院後の患者の生活がイメージできた。 明石市内の現状をデータを基に説明していただき、理解しやすかった。
MSW	<ul style="list-style-type: none"> DNAR指示書作成しているのであれば蘇生中止確認できる。 救急の概要を事例を通じて知る事で分かりやすかったです。
保健師	<ul style="list-style-type: none"> 救急の概要 明石での現状 事例を用いての説明だったので分かりやすかった。
介護支援専門員	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時の備えがよくわかりました。 在宅医の先生にどんな利用者さんをお願いできるのか？もっと活用していただいて良いとのことと安心しました。 「急変時の連携」について知る事が出来ました。 グループワーク、緊急時の備え それぞれの専門職からの視点からの意見で学ぶ事が出来た事。 高齢者の年代によって救急車を呼ぶ率が違う等おもしろかった。 急変時の対応についてよくわかった。 DNARの重要性。見守りれんらくばんの活用について 救急について 救急搬送の実情がわかってよかった。DNARはわかるが、本人の意見確認ができない場が難しいと思った。 救急搬送の実状や病院との関係が具体的に分かりやすかった。 消防局の方の話がわかりやすかったです。 それぞれ職種の役割。明石市の救急の実態。 救急の備え、システム 緊急時にケアマネのすべき事についてよく理解することができた。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 救急搬送についての状況がよくわかった。 75歳以上の119番通報の対応数の差がすごい。 明石市の救急の現状

3 グループワーク(多職種連携の場)を通じて、出来たこと、得られたことを教えてください。

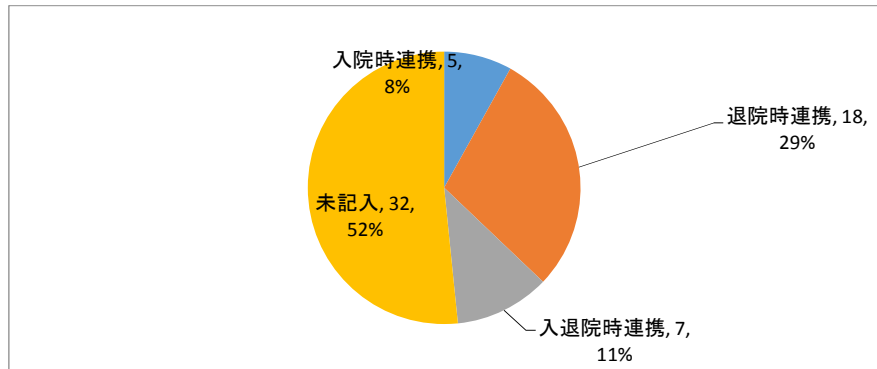
医師	<ul style="list-style-type: none"> ・いつ症状が増悪するのか分からない。かかりつけ医がいない方が居られることを知りました。 ・違う職種の方の異なる観点から意見を聞いて参考になりました。 ・連携を取りにくい医師がいる。 ・チームワーク
看護師	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネさんや訪看の方の訪問に対しての関わりについて聞いたことは参考になりました。 ・入院後のPtが退院してから得たい情報などを聞いて良かったし、最近、密な関係をもててると言われてよかったです。 ・れんらく板の存在を知ることができた。緊急時の対応や利用者さんとの連絡がとれなかった時の対応などを知る事ができた。 ・情報共有ができ、患者さんの意見に沿う急変時の対応ができればよいと思う。 ・病院と現場での考えている事(必要な情報)の違いが分かった。 ・すべての職種が連携する大切さを再確認 ・ケアマネの実際が知れて良かった。 ・いろんな立場から意見が聞けて良かった。 ・多職種と共に議論する事で現状把握や今後の連携について ・専門職に意思決定支援へスキルアップが必要である。 ・他の職種の方と関わり、知らないことを知る事ができた。 ・多職種がそれぞれにどこまで動いているか等を話し合い、聞くことができたので良かった。 ・多職種でのかかわり方、情報共有。 ・事例を通して、在宅でのことがイメージできた。情報を共有することが大切だと思いました。 ・各職種の話が聞けてとても参考になりました。見守り連絡板、命のカプセルは知らなかったです。 ・多職種の方の意見交換ができて良かったです。 ・具体的な連携方法。顔の見える関係が出来た。 ・地域で過ごす在宅での様子がよくわかった。受ける側と出す側が患者(療養者)の状況、急変時の対応を共通認識、共有できる場はとても重要だと思いました。 ・病棟でも、患者を送り出すだけでなく、退院後をイメージしながら支援することが大切。 ・病棟ではどのようにケアマネジャー、地域連携室と情報共有されているか見えないことも他職種で話をすることでわかった。(どの情報が大切か優先的に欲しいか) ・各職種の立場の意見を聞くことができて、今後の連携に役立ちそうである。
MSW	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り連絡板の活用はいいなと感じました。 ・他職種であっても意外と同じ事に問題を感じている。 ・在宅でのDNARの確認。KPだけでなく家族(他の)にも確認できているか。搬送の種別・窒息・心停止・ガン末期はどの場合でも搬送を考えるのか等 ・各職種の意見が聞けてよかった。 ・医療の目が家に入る事で今後の予測(身体状況)について分かること。
保健師	<ul style="list-style-type: none"> ・医療側が求めること、地域でできることを共有できた。 ・それぞれの役割で感じること、悩み等が把握できて良かった。(DrからNs、NsからCMIにつなぐ方法等)
介護支援専門員	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問診療の利用をもっと考えていけば良いと学べました。 ・先生、看護師、MSWの方々の他の立場の方の意見を聞いてよかった。 ・看護師さんやMSWより必要な情報の内容について教えて頂けた。 ・病院が知りたいこと、連携したいことを知ることが出来ました。 ・専門職によって視点が違う。違いをうまく活用したい。 ・薬の情報をきちんと知ることの大切さを感じました。 ・受け入れ側の看護師さんから、救急搬送された時の薬の内容や服用状況の情報が少ないと話あり。薬が分かればある程度の既往が把握できる。治療の進み具合に大きく影響する事を知りました。 ・医療職から利用者に伝えていただきたいこと→DNAR。CMから契約時等に緊急時のことを考えてもらう契機にするという意見を聞いて、自分にもできるかもと。 ・連携の大切さ ・主治医連絡票が活用されていない現状があることを知ったので、もっとしていかなければいけないと感じた。 ・他の職種の方の意見や主治医連絡票が活用されているのを知らなかったです。 ・見守り連絡板の充実、DNAR ・在宅医の話を直接聞いたのは良かった。 ・専門職の考え方がわかりました。緊急時対応のできる事。 ・色々な職種の方の目線や意見を聞いたこと。情報の共有が大事。みまもり連絡板の認識の大事さ。 ・見守り連絡板の活用。情報の共有 ・急変時のDNARの考え方が職種や家族によって異なる。 ・他の職種の立場からの考え方がよく理解できました。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・連携の取り方、緊急時の対応としてまずどこに連絡するか?どう動くか? ・DNARがなぜ混乱するのか。自分の知識不足、連携ができていないことがよく分かりました。 ・元気に生きてきて、介護が少しずつ必要になり、入院などもあるようになるライフステージによって、支援者が変更するが、本人意思や意向、家族間で話し合っている事などが、支援者が変わるとリセットされる。一定の書式がないため引き継がれていない。 ・Dr、医療職の方といろいろお話ができた。

4 この学習会での学びを通じて、あすからできる(と考えた)取り組みについて

医師	<ul style="list-style-type: none"> ・総合支援センターなど、地域のリソースとの連携。 ・連携
看護師	<ul style="list-style-type: none"> ・各職種の連携が密に出来るようにDNARについての確認が出来るタイミングを考えていきたい。 ・入院時に本人の意向を聞いて、共有できるようにしたいと思った。 ・情報共有をどんどんしていきたいと思った。 ・本人の話を聞く ・かかりつけ医への連携タイミング。入院ケモから外来ケモにつなぐタイミングで緩和病院へつないでいく ・自分の知らない事をたくさん知る事が出来ました。患者さんがサービスを利用しているのか等を見ていきたいと思えます。 ・情報共有が大事だとわかったので、診療時の様子をお伝えするなどしていきたい。 ・共有したい情報を整理する工夫 ・訪着の存在が心強いと言われたので今後も連携をはかりたい。 ・利用者様、家族様、多職種連携のあり方を考える機会について ・見守り連絡板の確認←このようなツールを病院全体で知っておけるよう伝達していきたい。 ・かかりつけ医の連携について。日頃の様子の情報についてこれからはFAXできるようにしていきたい。
MSW	<ul style="list-style-type: none"> ・救急要請について再認識でき、明日より患者様と話をする際伝えていけたらと感じました。 ・在宅での話し合いの内容を大切にすること。 ・よりよい連携(介護と医療)を連絡を密にして取り組んでいく。
保健師 介護支援専門員	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り連絡板の活用 ・緊急時の備えをしっかりとしようと思いました。 ・見守りれんらく板の活用 ・見守りれんらく板の再確認し共有する。 ・主治医や入院時の連携がより必要と知り実行したいと思えます。 ・医療知識を習得する事。DMAR視点を持つ意識をつくる。 ・見守り連絡板の活用。病院の方にも活用してもらおう。 ・認知症の方のいつも持ち歩く鞆の中に「れんらくばん」のミニ版を入れたい。 ・見守り連絡板に薬情(最新のものを)を必ず入れることを実践します。 ・改めて見守りれんらく板を活用する。 ・情報共有 ・連絡を取り合おうと思えます。 ・薬手帳の内容確認(受診できているか、薬変更ないか) ・DNARについて日頃から本人や家族と話し合えるようにしたい。 ・連携の大切さがわかりました。 ・緊急時の情報の見直し、家族の連絡先等。 ・見守り連絡板の活用を考える。 ・見守り連絡板の作成 ・契約時に家族や本人にDNARについての確認をしておく。 ・事務所間の連携を強化しようと思いました。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有(最新の情報を共有する) ・往診のDrやNsだけでなく担当利用者が、行かれている病院の把握と連携を行っていかうと思えます。 ・とりあえず、介護保険や医療につなぐ時に情報はできる限り余さず伝えようと思った。 ・利用者に関わるチームで最新の情報共有。

5 今後の多職種連携学習会で取り上げてほしいテーマや講演内容はありますか。

	回答数	比率
入院時連携	5	8.1%
退院時連携	18	29.0%
入退院時連携	7	11.3%
未記入	32	51.6%
合計	62	100.0%



その他 (具体的に)

医師	・ アドバイスカンファレンスをどのように実践するか。
看護師	・ 他施設との連携について ・ それぞれの立場でやっていることをグループワークして連携しやすくする。
MSW	・ 認知症の方の意思決定について
介護支援専門員	・ DNAR
その他	・ 退院時カンファレンス、退院後の対応、連携の取り方 ・ 入院時に治療の必要がなく、なにが他科の支援が必要である場合の転院などについて

その他、感想やご意見など自由にご記入ください。

医師	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの会より勉強になりました。これまでは医師の事例を聞きながらの会であったが、今後も訪看、CMからの事例報告をベースにしてディスカッションしていけばいいと思います。 ・ 在宅医の出席を増やす必要がある。
看護師	<ul style="list-style-type: none"> ・ こういった会を重ねることが多職種連携につながると思いました。この関係づくりで明石市全体で地域支援ケアが実践できるようになれば良いと思います。 ・ 初めての参加でしたが、とても参加しやすく、多職種の方々と意見を交換できてよかったです。また参加したいです。 ・ さまざまな職種の方の意見を聞くことができて良かったです。 ・ 他の医療者コメディカルとのつながりが大切だと思いました。高齢者だけでなく、そのお子さんの年から自分の身のふり方を考えておく必要があると思います。 ・ 参加したことで自分の知識が増えました。ありがとうございました。活発な意見交換ができました。
介護支援専門員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多職種の方との意見交換は、視野が広がり良いと思えました。 ・ ファシリテーターのリードで話しやすい雰囲気でした。参加者全員の意見が貴重で勉強になりました。 ・ ありがとうございます。 ・ 本日はありがとうございました。 ・ とても有意義な会になりました。次回も参加したいです。 ・ とても有意義な勉強会でした。ありがとうございました。 ・ 開催時間をもう少し早くしてほしいです。 ・ いつもありがとうございます ・ 意見が出し易い雰囲気でした。
その他	・ とても楽しく、有意義な研修、学習会をありがとうございました。